

2024
Season

08



明治安田 J1 LEAGUE

2024明治安田J1リーグ 第15節
@駅前不動産スタジアム

MDP

Sagan Tosu

MATCHDAY PROGRAM

5.18 (土)



19:00 KICK OFF

vs 名古屋グランパス

© NAGOYA GRAMPUS EIGHT INC.

FW 13

横山 歩夢

Ayumu YOKOYAMA

チームを勝たせられる選手へ。サガン鳥栖加入2年目を迎えた横山歩夢は確かな成長を遂げている。加入1年目だった昨季、与えられた役割はゲームチェンジャーとして後半に投入される“切り札”としての働きだった。スピードに乗ったドリブルと鋭いカットイン、チームに勢いをもたらすプレーは横山にしかできない仕事だったが、シーズン最後まで“ゲームチェンジャー”的な殻を破ることはできなかった。課題だった守備は川井健太監督やコーチ陣から苦言を呈されることもあった。クロスからアシストは記録したが、自身のゴールはリーグ戦では記録することができなかった。課題は明確。だからこそ、逃げることなくそこに向き合った。

その成果を今季は開幕から表現する機会が多い。昨季は1度も無かったリーグ戦での先発も第14節終了時点で3度記録している。「守備の部分では昨季よりもはるかに成長できているんじゃないかなと思います。チームコンセプトの中で人を誘導して自分のところで奪うことや逆に自分がうまく相手を誘導して後ろの選手のところで奪ってもらう。そういうことができるようになってきた」と確かな手応えがあるからこそ、川井監督も横山に先発を託している。そして、自身が何よりも欲しているのが結果だ。「足を振ること」を今季のテーマに掲げ、得意のカットインから積極的にシュートを放つ機会も増えてきた。惜しい場面を何度も作りながら“あとわずか”で自身のゴールにはつながっていないかったが、第14節で待望の瞬間が訪れた。それでもなお「自分が点を取るというところにももっとこだわりをもってやっていきたい」とギラギラとしたものを自分の中にはとばしらせていく。今季、川井監督は「チームを勝たせられる選手」をシーズンのテーマの一つに掲げている。その解釈を問われた横山は「得点する選手やアシストできる選手だと思います。自分のポジションは特にそういった選手が試合に出る場所」。その雰囲気は漂いつつある。結果でチームを高みへと導いていく。

木村情報技術

K

横山歩夢が
目標す進化

佐賀トヨタスペシャルマッチ
～地域とともに星をつかもう！～